

ライブストリーミングを楽しむ(50)
—大阪クラシック 22—

1. 始めに

大阪クラシック 2022 のうちアーカイブの無料配信プログラムが 9 月 4 日～10 月 10 日の間公開されましたので視聴しました。



2. ライブの試聴方法と使用機器環境

プログラムと配信環境は次のとおりです。

<https://osaka-classic.jp/video/>

配信期間 9 月 4 日～10 月 10 日

1 【フルート】永江真由子 【ヴァイオリン】尾崎未佳
ボワモルティエ/フルートとヴァイオリンのためのソナタ 第 5 番、第 2 番
ロッラ/フルートとヴァイオリンのための二重奏曲 BI251
センチュリー

2 【チェロ】大谷雄一 【コントラバス】大槻健太郎
モーツァルト/12 のホルン二重奏曲 8 番 10 番 12 番
ハイドン/チェロとコントラバスのための二重奏曲ニ長調
ロッシーニ/チェロとコントラバスのための二重奏曲第 2 楽章

大阪響

3 【フルート】高橋なつ美 【ヴァイオリン】野口まつの
【ヴィオラ】椎名弘明
ベートーヴェン/セレナーデ ニ長調 作品 25

関西フィル

4 【ヴァイオリン】池原衣美 【ヴィオラ】増永雄記 【チェロ】末永真理
J.S.バッハ/ゴルトベルク変奏曲 BWV988 より

センチュリー

5 【トロンボーン・アルトトロンボーン・ユーフォニアム】阿部竜之介
【ホルン】青木宏朗 【ピアノ】中桐綾奈

ヴェルディ/椿姫より乾杯の歌

ヘンデル/調子の良い鍛冶屋

ハイドン/アダージョとアレグロ・モルト ニ長調

グリノ/紺碧の夜明け

大阪響

6 【クラリネット】梅本貴子 【トランペット】白水大介
【パーカッション】角武 【ピアノ】森玉美穂

ハートレイ/クラリネット、トランペットとピアノのための2つの舞曲より
「スロードラッグ」

コーブランド/静かな都市

ポール・ボウルズ/道化芝居のための音楽

関西フィル

7 【チェロ】近藤浩志 【ピアノ】河合珠江
珠玉のチェロ名曲小品集

大阪フィル

8 【ヴァイオリン】小林亜希子、石原優香
ルクレール/2つのヴァイオリンのためのソナタ イ長調 作品3-2

武満 徹/揺れる鏡の夜明け

大阪フィル

9 Shion のメンバーによるアンサンブル配信をお楽しみに♪

Shion

【クラリネット】大場昂平、蔭山晶子、古賀喜比古 【バスクラリネット】仙基玲
W.A.モーツァルト/歌劇「魔笛」より

P.マスカーニ/歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」ハイライト

G.F.ヘンデル/私を泣かせてください

G.ガーシュイン/ガーシュイン・イン・クラリネット!

10 【ソプラノ・サクソフォン】田端直美 【アルト・サクソフォン】福田 亨
【テナー・サクソフォン】高畑次郎 【バリトン・サクソフォン】井澤裕

アルベニス/スペイン組曲よりセビリヤ

J.S.バッハ/イタリア協奏曲 ヘ長調 BWV971 より 第3楽章

フォーレ/ドリー組曲

ガーシュイン/ラプソディーインブルー

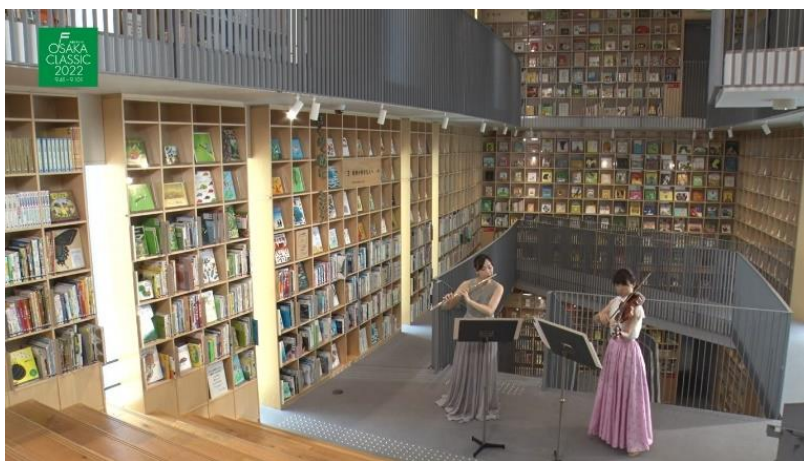
受信は、YouTube の配信ですので、いつもの音楽用 PC 経由と DMR-UBZ1 経由で、Sonica DAC 経由で再生します。

昨年と違って再生経路にダンパーフレークが適用されており、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、DA-3000 とスピーカーケーブルの途中に自作の仮想アースがセットされています。

3. アーカイブの試聴の試聴結果

視聴は PC 経由と DMR-UBZ1 経由で行いましたが、主に後者です。

配信 1 は、図書館の部屋でヴァイオリンもフルートも直接音が強く収録されています。ボワモルティエもロッラも初めて聴く曲ですが、優雅なバロック風の曲のようです。



配信 2 は、配信 1 と同じく図書館の部屋でのチェロとコントラバスの 2 重奏です。低音で聴く古典というテーマの選曲です。チェロもコントラバスもリアルな音です。



配信 3 は、配信 1、配信 2 と同じく図書館の部屋でのフルート、ヴァイオリン、ヴィオラという珍しい組み合わせの演奏です。ベートーヴェンらしくない小粋な曲で、フルート、ヴァイオリン、ヴィオラともなまなましい音で奏でられています。



配信 4 は、バッハのゴルトベルク変奏曲のヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの弦楽 3 重奏への編曲版で、チェンバロやピノで聴くものと違った趣を出しています。ホールロビーのようなところでの演奏ですので、かなり残響音が強く出ています。



配信 5 は、配信 4 と同じ環境でのトロンボーンまたはアルトトロンボーン、ホルン、ピアノの三重奏、ユーフォニアム、ホルン、ピアノおよびユーフォニアムとピアノの二重奏です。音色のよく似た 4 つの管楽器の聴きわけが興味深く、あまり聴く機会のないユーフォニアムの音色をじっくり楽しみました。



配信 6 は、配信 4、配信 5 と同じ環境でのクラリネット、トランペット、パーカッション、ピアノという構成でのアメリカ音楽の演奏です。いかにもアメリカ音楽らしく、ラグタイム調であったり、ファンファーレ調であったり、映画音楽調と切れ味の良い演奏です。

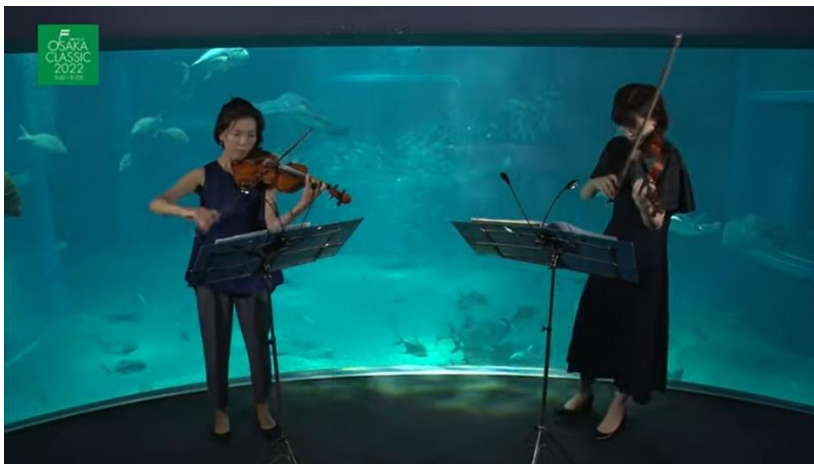


配信 7 は、海遊館での水槽をバックにしたの珠玉のチェロ名曲小品集と題しての、チェロと伴奏の電気ピアノの演奏です。演奏曲目は、下記のとおりです。ジンベエザメなど大小様々な魚の泳ぐ巨大な水槽の部屋で、どのような響きの音になるかなと思って聴いていましたが、案外自然な響きでした。

- エルガー 愛の挨拶
- イングランド民謡 グリーンスリーブス
- アイルランド民謡 ロンドンデリーの歌
- ラフマニノフ ヴォカリーズ
- サンサーンス 白鳥
- モノー 愛の賛歌



配信 8 は、配信 7 と同じく、海遊館での水槽をバックにしたヴァイオリンのデュオの演奏です。曲目は、フランスバロックのルクレールと、これに対照的な武満の前衛的な曲です。2丁のヴァイオリンの前にそれぞれ二つのマイクを置いたオンマイクの配置で、直接音がリアルに捉えられていました。



配信 9 は、美術館でのクラリネット 3 本とバスクラリネットの管楽アンサンブルの演奏です。演奏される 3 曲は、オペラのアリアやガーシュインのミュージカルなどからのメドレーの編曲です。美術館の展示室のようなところでの演奏ですが、クラリネットとバスクラリネットの音色が自然に聴こえました。



配信 10 は、配信 9 と同じく美術館における、音域の違うサキソフォンの 4 重奏の演奏です。作曲年代もことなる、スペイン、ドイツ、フランス、アメリカの曲のソプラノ、アルト、テナー、バリトンのサキソフォンの多彩な音色が楽しめました。



以上、在阪のオーケストラの中堅、若手のメンバーによるデュオ、トリオ、アンサンブルなどの演奏でしたが、音質的にはダンパーフレークと仮想アースの効果が認められ、ライブの雰囲気が味わえ、演奏場所の音響特性も分かりました。

なお、PC 経由と DMR-UBZ1 経由ではともにダンパーフレークが適用されており、音質的な違いは認められませんでした。

4. まとめ

大阪クラシック 2022 のうちアーカイブの無料配信が視聴できました。昨年と違って再生経路にダンパーフレークが適用されており、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、DA-3000 とスピーカーケーブルの途中に自作の仮想アースがセットされている効果で音質の向上が認められました。

以上